



2026年3月10日（火）、第45回全国高校生読書体験記コンクールで全国高等学校長協会賞を受賞した青森明の星高等学校3年の船橋拓実君が、青森県庁を訪れ、奥田忠雄副知事に受賞を報告しました。高橋光夫副校長が同行しました。本賞は、全国約5万5千編の中から、中央入賞者8人のうち文部科学大臣賞の次に与えられるものです。表彰式は2026年1月26日（月）に東京で開催されました。船橋君は、自分の感性に従い、楽しみながら創作することや、今春からは、日本大学芸術学科文芸学部に進み、専門性を磨き上げ、それを生かした職業に就きたいと語りました。

奥田副知事からは、「これまで指導などで支えてくださった方や、これからも応援する方がいることを忘れず、次の夢に向かって頑張ってください。また、是非、青森に戻って活躍していただきたい。」とエールをいただきました。